会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和５年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業（２）教職員の資質能力向上の推進① 効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第2回産学連携員育成講座開発委員会 |
| 開催日時 | 令和5年8月23日（水）16:00～18:00 |
| 場所 | リファレンス西新宿大京ビル貸会議室 |
| 出席者 | 監督者等：岡村　慎一、成底　敏（OL）委　　員：柳田　祐大、及川　源太、森川　和哉、藤井　貴志（OL）、能登　一秀（OL）、土井　宏美（OL）、三村　隆男（OL）林　透（OL）　　　　　　　　　　　　　　　　計10名請負業者：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　　　計 1名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　合計11名 |
| 議題等 | 1.産学連携推進員の対象者確認・対象者は、学科管理者を対象とする。（柳田）2.産学連携推進員の目指すところ（育成したい人材像）・地元の企業や産業とコミュニケーションをとり、必要とされる人材のニーズを的確に捉えた教育カリキュラムが設計できる。また、地域の活性化に貢献できる人材育成を産学と連携して構築でき、主に専門学校などの職業教育機関独自の連携スタイルを作成できる。（柳田）3.産学連携推進員資質・要件にアンケート調査に向けて・配布資料に基づき、「目的」「知りたい事」「対象」「調査対象選定」「項目」について説明（柳田）・PDCAサイクルなどをアンケートで吸い上げていくのか？（岡村）・現状と理想との乖離についてははっきりしたい。（土井）・分野は8分野を対象としますか？（飯塚）・必要と思われる分野を明確にする必要がある。（柳田）・全部に出すということは負担が多い。ただ、情報としては公開する意義があると思う。（岡村）・産学連携の形の違いがあると思うので、それを聞く質問項目を増やすことが必要ではないか（成底）・8分野実施することにする。分野・学科別に区分すれば良いのではないか（柳田）・職業実践専門課程に属している課程が対象となるのか。（能登）・職業実践専門課程の学科が対象とする。（柳田）・今やっていることに対する課題なのか、今後やりたいと思っている課題解決なのか？（岡村）・実感を伴う課題感を引き出すことが重要ではないか？（岡村）・資質・能力は学校の理解から引き出すのか？こちらから示していくことが大事なのか？（三村）・まずは、一旦理解から引き出す。その後、委員会にてカテゴライズする。（柳田）・産学連携推進員というのは、定義づけされているのか。（林）・配布資料に基づき、アンケート項目について説明。（森川）・教員の育成段階で産学連携担当の位置付けとはどのようなことでしょうか（及川）・教員のキャリアポジションの中で、組み込まれていると考えている。実践的な教育をするためには重要ではないか？（柳田）・資質・能力を問う質問はどのようにすればいいのか？（林）・資質・能力は、知識・技能、運用能力、方針・価値観作成に区分できる。これを伝えておくことが重要（三村）・説明するか、例示すると答えやすい。（三村）・あらゆる分野において、資質・能力があるので、答えを出していただいた後で、カテゴライズする。（林）・資質・能力を、1知識・技能、2運用能力、3価値観・態度の3つに区分し、自由記入で書いていただくことが重要だと思う。（三村）・教員（テーチャ）か管理者（アドミニストレータ）なのかを区分する。（三村）・教員と管理者は兼務者がほとんどで（柳田）・職業実践専門課程認定校を対象とするのであれは、産学連携はやっていることを前提とした設問設計にした方が良い。（成底）・教育指標がありますか？あるならばどの段階で産学連携を配置する方が良いのではないか。（三村）・アンケートの構造やカテゴリーの中でを少し精査する必要がある。（岡村）・職業教育とキャリア教育を区分する場合のそれぞれの意味合いなども聞いてみたい。（岡村）4.次回のスケジュールについて・8月中にアンケート叩き台・9月第1週にアンケート精査・9月第2週にアンケート実施・9月末にアンケート回収・10月2週にアンケート分析・10月19日（木）16:00〜18:00 方法は後日。 |
| 配布資料 | ・第2回産学連携推進育成講座開発委員会資料・産学連携推進員に必要な資質・要件を明らかにするアンケート・調査依頼文 |

以上